

平成 27 年第 6 回朝日町議会定例会会議録（第 1 号）

平成 27 年 9 月 3 日（木曜日）午前 10 時 00 分開議

議事日程（第 1 号）

- 第 1 会議録署名議員の指名
 - 第 2 会期の決定
 - 第 3 議長諸報告
 - 第 4 認定第 1 号から認定第 9 号まで及び議案第 54 号から議案第 61 号まで並びに報告第 4 号、報告第 5 号
(提案理由説明、監査委員審査報告、質疑)
-

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
 - 日程第 2 会期の決定
 - 日程第 3 議長諸報告
 - 日程第 4 認定第 1 号から認定第 9 号まで及び議案第 54 号から議案第 61 号まで並びに報告第 4 号、報告第 5 号
(提案理由説明、監査委員審査報告、質疑)
-

出席議員（10 人）

- 1 番 清 水 眞 人 君
- 2 番 荒 尾 勇 二 君
- 3 番 道 用 昭 雄 君
- 4 番 小 川 慶 二 君
- 5 番 大 井 光 男 君
- 6 番 西 岡 良 則 君
- 7 番 加 藤 好 進 君
- 8 番 長 崎 智 子 君
- 9 番 水 野 仁 士 君

欠席議員（0人）

説明のため出席した者

町	長	笹原靖直君
副町	長	金島光一君
教 育	長	永井孝之君
まちづくり推進統括 兼商工観光課	監長	小川雅幸君
企 画 政 策 室	長	小杉嘉博君
総 務 課	長	山崎富士夫君
財 務 課	長	大村浩君
住 民 ・ 子 ど も 課	長	寺崎昭彦君
健 康 課	長	清水明夫君
農 林 水 産 課	長	坂口弘文君
建 設 課	長	竹谷俊範君
会 計 管 理 者		谷口宗次君
あさひ総合病院事務部長		道用慎一君
朝 日 消 防 署	長	谷口優君
教 育 委 員 会 事 務 局 長		宇田速雄君
代 表 監 査 委 員		角丸貴之君

職務のため出席した事務局職員

事 務 局 長	中島優一
主 任	平木敦

(午前10時01分)

開会の宣告

議長(水野仁士君) ただいまの出席議員数は10人で、定足数に達しておりますので、これより平成27年第6回朝日町議会定例会を開催し、直ちに本日の会議を開きます。

日程の報告

議長(水野仁士君) 議事日程は、お手元に配付したとおりであります。
会議の運営につきましては、格段のご協力をお願いいたします。

会議録署名議員の指名

議長(水野仁士君) これより、本日の日程に入ります。

会議録署名議員の指名を行います。

1番 清水 真人 君

2番 荒尾 勇二 君

を指名いたします。

会期の決定

議長（水野仁士君） 会期の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から9月18日までの16日間といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

議長（水野仁士君） ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日から9月18日までの16日間と決定いたしました。

この際、暫時休憩をいたします。

（午前10時02分）

〔休憩中に常任委員会の日程を協議〕

（午前10時03分）

議長（水野仁士君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

常任委員会の日程は、総務産業委員会は14日・16日、民生教育委員会は15日・16日と決定いたしました。

なお、お手元に配付してあります会期日程案を日程にかえさせていただきます。

議長諸報告

議長（水野仁士君） 次に、6月議会定例会以降の諸般について5点の報告をいたします。

第1点目は、7月13日、新川地域介護保険組合議会定例会が黒部市で開催され、平成26年度新川地域介護保険組合一般会計歳入歳出決算、平成27年度新川地域介護保険組合一般会計補正予算、監査委員の承認などの議案が提出され、審議の結果、原案のとおり認定・可決されました。

第2点目は、東京において、7月24日に朝日・滑川間国道バイパス建設促進期成同盟会による要望行動があり、西岡副議長が関係省庁並びに関係国会議員に対し、事業の促進を要望してまいりました。

第3点目は、7月28日、当町と長野県白馬村による災害協定調印式が白馬村の八方池山荘にて行われ、私と白馬村議長・副議長が立ち会い、今まで以上に交流を深めていくことを確認いたしました。

第4点目は、8月25日、新川地域消防組合議会定例会が黒部市で開催され、平成26年度新川地域消防組合一般会計歳入歳出決算、平成27年度新川地域消防組合一般会計補正予算、消防ポンプ車の購入契約の締結についてなどの議案が提出され、審議の結果、原案のとおり認定・可決されました。

第5点目は、8月25日、新川広域圏事務組合議会臨時会が黒部市で開催され、宮沢清掃センター火災復旧工事に係る契約などの議案が提出され、審議の結果、原案のとおり可決されました。

以上で、私からの報告を終わります。

認定第1号から認定第9号まで及び議案第54号から

議案第61号まで並びに報告第4号、報告第5号

議長（水野仁士君） これより、認定第1号 平成26年度朝日町一般会計歳入歳出決算から認定第9号 平成26年度朝日町病院事業決算まで及び議案第54号 平成27年度朝日町一般会計補正予算（第5号）から議案第61号 新川広域圏事務組合CATV放送センターの財産処分の件までの8議案並びに報告第4号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の報告の件 平成26年度決算に基づく朝日町財政健全化判断比率等報告書、報告第5号 地方自治法施行令第145条第2項の報告の件 平成26年度朝日町継続費精算報告書の計19件を一括議題といたします。

提案理由説明

議長（水野仁士君） 提案理由の説明を求めます。

笹原町長。

〔町長 笹原靖直君 登壇〕

町長（笹原靖直君） 皆さん、おはようございます。

平成27年第6回朝日町議会定例会に提出いたしました議案について、その概要をご説明申し上げ、あわせて、町政において課題となっております事柄についてもご説明させていただきます。

まず、提出いたしました議案について、その概要をご説明申し上げます。

認定第1号 平成26年度朝日町一般会計歳入歳出決算から認定第8号 平成26年度朝日町奨学資金特別会計歳入歳出決算及び認定第9号 平成26年度朝日町病院事業決算の各案件は、地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定により、議会の認定に付す案件であります。

認定第1号 平成26年度朝日町一般会計歳入歳出決算につきましては、歳入合計94億8,666万35円、歳出合計88億1,414万6,114円で、歳入歳出差し引き6億7,251万3,921円となり、そのうち翌年度繰越財源2億9,975万2,000円を差し引いた3億7,276万1,921円を翌年度へ繰り越しいたしたいのであります。

認定第2号 平成26年度朝日町国民健康保険特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入合計15億3,288万8,718円、歳出合計14億5,121万8,667円であり、歳入歳出差し引き8,167万51円を翌年度へ繰り越しいたしたいのであります。

認定第3号 平成26年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入合計4億2,729万502円、歳出合計4億2,718万2,384円であり、歳入歳出差し引き10万8,118円を翌年度へ繰り越しいたしたいのであります。

認定第4号 平成26年度朝日町簡易水道特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入合計6,707万201円、歳出合計3,582万9,132円であり、歳入歳出差し引き3,124万1,069円を翌年度へ繰り越しいたしたいのであります。

認定第5号 平成26年度朝日町下水道特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入合計11億1,288万4,905円、歳出合計11億792万9,692円であり、歳入歳出差し引き495万5,213円を翌年度へ繰り越しいたしたいのであります。

認定第6号 平成26年度朝日町公共用地先行取得等事業特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入合計375円、歳出合計0円であり、歳入歳出差し引き375円を翌年度へ繰り越しいたしたいのであります。

認定第7号 平成26年度朝日町南保外二地区用水特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入合計257万224円、歳出合計249万9,702円であり、歳入歳出差し引き7万522円を翌年度へ繰り越しいたしたいのであります。

認定第8号 平成26年度朝日町奨学資金特別会計歳入歳出決算につきましては、歳入合計102万496円、歳出合計102万円であり、歳入歳出差し引き496円を翌年度へ繰り越しいたしたいのであります。

次に、認定第9号 平成26年度朝日町病院事業決算についてであります。

収益的収入及び支出につきましては、収入総額は30億2,698万6,072円で、企業会計制度の改正に伴い計上いたしました退職給付引当金及び賞与引当金の特別損失4億490万6,578円を含めた支出総額は34億3,538万6,916円で、消費税を処理した後の収支差し引きは純損失4億1,071万7,339円となり、前年度繰越欠損金31億6,554万2,413円とその他未処分利益剰余金変動額5,757万1,810円を合わせた35億1,868万7,942円を当年度未処理欠損金として翌年度へ繰り越しいたしたいのであります。

また、資本的収入及び支出につきましては、収入総額2億7,828万3,000円、支出総額4億1,185万8,979円となり、資本的収入が資本的支出額に不足する額1億3,357万5,979円は、補填財源により調整いたしたところであります。

次に、平成27年度の補正予算案件についてご説明申し上げます。

議案第54号 平成27年度朝日町一般会計補正予算(第5号)は、歳入歳出予算の総額に、

歳入歳出それぞれ4,244万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ78億2,775万1,000円といたしたい内容であります。

補正いたします財源は、国庫支出金1,291万円、繰越金2,953万7,000円といたしております。

歳出の主なものといたしましては、五差路周辺複合施設管理運営費に746万5,000円、地域創生先行型事業に1,088万3,000円、保育所維持管理費に1,393万4,000円、治山事業に254万8,000円、観光事業に220万円などといたしております。

議案第55号 平成27年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,924万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ16億6,373万8,000円といたしたいものであります。

これは、療養給付費等国庫負担金及び退職者医療療養給付費等交付金の清算に伴い返還するものであります。

次に、条例案件について申し上げます。

議案第56号 朝日町個人情報保護条例一部改正の件は、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」、いわゆる番号法が施行されることに伴い、個人情報保護条例を番号法に対応させる必要があることから条例の一部を改正するものであります。

議案第57号 朝日町手数料条例一部改正の件は、議案第56号と同様、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が施行されることに伴い、個人番号を通知するカード等の再交付手数料に関し、所要の改正を行うものであります。

議案第58号 新川広域圏事務組合規約の変更の件、議案第59号 新川地域介護保険組合規約の変更の件、議案第61号 新川広域圏事務組合CATV放送センターの財産処分の件は、新川広域圏事務組合が事業主体として役割を担ってきたケーブルテレビ事業の起債償還が終了したことを区切りとして、実際の放送エリアである黒部市、入善町、朝日町の1市2町で構成する新川地域介護保険組合に、平成28年4月からその業務を移管することから、組合規約の一部変更や財産処分を行うものであります。

議案第60号 新川広域圏事務組合勤労青少年ホームの財産処分の件は、建物の老朽化による取り壊しに合わせて事務を廃止することから、建物及び物品を財産処分するものであります。

次に、報告案件について申し上げます。

報告第4号 平成26年度決算に基づく朝日町財政健全化判断比率等報告書は、地方公共団

体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、平成26年度決算における財政健全化判断比率4指標と公営企業の資金不足比率について報告するものがあります。

報告第5号 平成26年度朝日町継続費精算報告書は、図書館及び明治記念館整備事業に係る継続費の精算について報告するものであります。

以上、本定例会に提案いたしました諸案件についての説明といたします。

続きまして、議案以外の町政における重要課題等について申し上げます。

まずは、「さゝ郷 ほたる交流館」についてであります。

「さゝ郷 ほたる交流館」につきましては、笹川地区の風土・文化・人にふれながら、定住・半定住の促進、地域の活性化につなげるふるさと移住体験施設として、去る5月26日に富山県知事をお迎えして竣工式を行い、6月27日には石破茂地方創生担当大臣の訪問もいただきました。これまでの間、田舎暮らしを体験したい、移住・定住を考えている方々の宿泊や施設見学等、多くの方々にご利用いただいているところであります。

次に、五差路周辺複合施設についてであります。

朝日町五差路周辺複合施設につきましては、去る6月28日に竣工式を行い、朝日町商工会や朝日町社会福祉協議会、泊地区自治振興会が入居するとともに、生鮮食料品や地場産農産物の直売を行う「まめなけ市場」、町民の語らいや憩いの場となる「ふれあい広場」や「イベント広場」などを備えた複合施設としてオープンしたところであります。

この施設を多くの方々に積極的に活用していただき、泊市街部の元気、そしてまちづくりの発信の拠点として、ふれあい・賑わいの創出につなげ、交流人口の拡大に努めてまいりたいと考えております。

次に、第5次朝日町総合計画及び朝日町総合戦略についてであります。

平成18年度から10カ年計画を進めてまいりました「第4次朝日町総合計画」は今年度が最終年度であり、来年度から平成37年度までの10カ年の「第5次朝日町総合計画」がスタートいたします。また、総合計画のうち、特に人口減少対策として戦略的に、雇用の創出、町への人の流れ、結婚・出産・子育て、地域づくりを推進し、平成31年度までを計画期間とする「朝日町総合戦略」の策定も進めているところであります。

策定に当たっては、24名の委員で構成する第5次総合計画と総合戦略の合同審議会を、これまで7月28日、8月27日に2回開催し、朝日町の将来像に向けて議論しているところであります。また、これまで10回開催してまいりました、公募の13名の委員からなる朝日町再生

会議からの提言も踏まえ、「夢と希望の持てるまちづくり」の実現に向け、さまざまな施策を展開すべく、計画策定を進めてまいりたいと考えております。

次に、安心・安全なまちづくりについてであります。

災害発生時において地域間の連携をより一層深めるべく、7月28日に長野県白馬村と大規模災害時における相互応援協定を締結いたしました。この協定締結により、今後、防災体制の充実及び両町村の連携強化が進むことを期待するものであります。

また、去る8月29日、朝日町総合防災訓練・防災講演会をサンリーナで行いました。今回は、全町内を対象とした訓練とし、避難所設営訓練や人命救助訓練等のメニューに加え、友好都市である岩手県釜石市の野田武則市長をお招きし、防災講演会を開催いたしました。これらを通じ、防災意識の向上や災害発生時における対応等の習得が図られたものと考えております。

役場庁舎東側の敷地に建設が予定されている朝日消防署新庁舎につきましては、平成29年度中の完成を目指し、現在、基本・実施設計業務に着手したところであります。消防・防災の拠点施設として、町民の皆様が親しまれ、安心感を持っていただけるような施設としてまいりたいと考えております。

最後に、富山県立泊高等学校の存続についてであります。

朝日町にとって唯一の県立高校である泊高校の存続は、朝日町の子どもたちの就学の場の確保という面だけではなく、地域の活力に大きな影響を与える問題であります。

このことから、泊高校の存続を求める署名活動を通じ、町民の皆様はもちろんのこと、町外にお住まいの親族や知人、泊高校生の主な就職先となっている企業などにも働きかけることで、より多くの皆様の存続にかける思いを県へ訴えかけてまいりたいと考えております。

このほかにも、町政を取り巻く課題は山積しておりますが、課題解決に向けてさまざまな施策を着実に進めていくとともに、今後とも、町民のご理解と議会との議論を重ねながら、スピード感を持って取り組んでまいりたいと考えております。

これをもちまして、提案理由説明と町政に対する重要課題の説明とさせていただきます。

何とぞご審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

議長（水野仁士君） ご苦労さまでした。

監査委員審査報告

議長（水野仁士君） 次に、平成26年度の一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに病院事業決算について及び平成26年度朝日町財政健全化判断比率等に関し、審査意見書が付されております。

これより、監査委員の審査報告を求めます。

代表監査委員、角丸貴之君。

〔代表監査委員 角丸貴之君 登壇〕

代表監査委員（角丸貴之君） 議長のご指名によりまして、平成26年度の一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに平成26年度病院事業決算の審査結果につきまして、ご報告申し上げます。

去る8月25日・26日の両日にわたり、加藤監査委員とともに、朝日町役場第3委員会室において審査を実施いたしました。

平成26年度朝日町一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算及び朝日町病院事業決算並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書につきまして審査いたしました結果は、お手元に配付してあります朝日町決算意見書のとおりであります。

いずれも計数は関係帳簿と符合し正確であり、出納事務も関係法規に従って処理されており、かつ予算の執行は的確であったことを申し上げます。

なお、審査を踏まえての総括的な指摘事項といたしまして、次の2点を申し添えまして決算審査報告といたします。

第1点には、北陸地方の経済動向は、個人消費は一部に持ち直しの動きが見られる等穏やかに改善していると言われているが、当町の個人住民税は低調に推移し、税収全体も減る傾向にあり、また財源の多くを国からの交付税に依存していることから、町の財政運営は引き続き厳しい状況となっている。

自主財源である町税については滞納処分を厳正に執行するなど、引き続き税収確保に努められたい。

また、行政全般においては、五箇庄小学校跡地整備や新図書館、五差路周辺複合施設建設など大型プロジェクトが続き、公債費が増大している。今後も消防署新庁舎建設が計画されており、大型プロジェクトの実施に当たっては将来の町財政にも十分考慮されたい。

新設された「さゝ郷 ほたる交流館」や五差路周辺複合施設運営について、町当局、指定

管理者、関係団体が連携しながら各種イベント等を企画するなど、町内外へのPR誘客に努めるとともに、利用者が利用しやすい柔軟な対応をとられたい。

特に株式会社まめなけ市場の運営には、町当局の指導により安定した経営が確立されるよう努められたい。

有限会社ふるさと創造社の経理状況については赤字決算となっており、各種イベントの開催等努力は認めるが、さらなる総括と営業に努められたい。

また、昨年も指摘したが、施設の運営には町から過去3年間で1億400万円と多額の委託料（指定管理費）が支払われており、当然ながら委託料は町民の税金であることを認識され、有限会社あさひふるさと創造社及び町当局は、真剣に経営改善の具体策を検討され、増資等自主努力を含め繰越欠損金解消を図られたい。

第2点には、病院事業においては、医師・看護師不足から診療体制の縮小状態が依然として続いており、平成26年度単年度決算は赤字決算となっている。

地域住民の安心・安全に応える公立医療機関として、医師・看護師を確保し、盤石な診療体制を一刻も早く構築し、累積欠損金の減少に努められたい。

次に、平成26年度朝日町財政健全化判断比率等に関する審査結果につきまして、ご報告申し上げます。

去る8月26日、加藤監査委員とともに、朝日町役場第3委員会室において審査を実施いたしました。

平成26年度朝日町財政健全化判断比率等に関する調書における実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、資金不足比率につきまして、算定が法令等の趣旨に沿って適切に行われているか、算定の基礎となる数値が決算書及び決算統計等の数値に基づいて適正に表示されているか等について、照査を行うとともに、関係者からの説明を求めて審査を行った結果、審査に付された平成26年度朝日町財政健全化判断比率等調書の計数及び処理については、適正に表示されているものと認められました。

それぞれの比率につきましては、お手元に配付してあります審査意見書のとおりであります。

以上であります。

議長（水野仁士君） ご苦労さまでした。

これより、提出されております認定第1号から報告第5号までの19件について細部説明を行います。

説明は休憩中に行います。

この際、暫時休憩をいたします。

(午前10時31分)

〔休憩中に、会計管理者(谷口宗次君)が認定第1号から認定第9号まで、財務課長(大村浩君)が議案第54号、議案第55号並びに報告第4号、報告第5号、企画政策室長(小杉嘉博君)が議案第56号及び議案第58号から議案第61号まで、住民・子ども課長(寺崎昭彦君)が議案第57号について細部説明を行う〕

(午前11時45分)

議長(水野仁士君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

質 疑

議長(水野仁士君) 上程されております認定第1号 平成26年度朝日町一般会計歳入歳出決算から認定第9号 平成26年度朝日町病院事業決算まで及び議案第54号 平成27年度朝日町一般会計補正予算(第5号)から議案第61号 新川広域圏事務組合CATV放送センターの財産処分の件までの8議案並びに報告第4号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の報告の件 平成26年度決算に基づく朝日町財政健全化判断比率等報告書、報告第5号 地方自治法施行令第145条第2項の報告の件 平成26年度朝日町継続費精算報告書の計19件に対する質疑であります。

これより、上程案件に対する質疑を行います。

ご承知のことではありますが、質疑に当たっては挙手をしていただきますようお願いいたします。

なお、決算書、予算書については、最初に該当するページを言ってから質疑をしてください。

また、質疑は簡潔に、質疑に対する答弁は適切をお願いいたします。

順次、発言を許します。

大井君。

5番(大井光男君) 議案第54号、平成27年度一般会計補正予算(第5号)の10ページ目の商工費、事業名、観光事業、金額220万、ヒスイの原石購入についてのたゞいま説明がありました。これは先般の8月18日に、我々も協議会でヒスイの購入の話を受けました。

しかし、その後、今に至って議論は十分ではないという思いはあります。今なぜ必要なの

か、私はよく理解できません。町民の理解を得るために、いま一度、改めて説明をお願いいたします。

議長（水野仁士君） 小川商工観光課長。

商工観光課長（小川雅幸君） では、今、大井議員が言われましたので。

ヒスイ原石の購入につきましては、朝日町が今後観光というものを進めていく場合に、2つの視点で考えております。1つは、自然景観を守るということで、町の環境を整えていきたい。そのために、ヒスイ海岸周辺の構想をつくらせていただきました。もう1つは、観光産業として生きていくというまちづくりをしてまいりたいというふうに考えております。

そういった中で、朝日町は、観光資源としてたくさんの自然景観というものを持っておりますが、その中でもヒスイ海岸というのは日本に誇れる環境であるというふうに思っております。そういった観点から、ヒスイ海岸のキャンプ場を初めとして、パークゴルフ場も含めて、過去から計画的にヒスイ海岸周辺の整備を進めてまいりました。

そういった中で、最終的に、宮崎地区の協力も得まして、かしま荘跡地という部分で駅周辺の整備検討委員会というものを開かせていただきながら、越中宮崎駅周辺の整備を図ることで、新幹線も開業いたしましたし、在来線でありますあいの風とやま鉄道やえちごトキめき鉄道といった交通機関も利用しながら、大勢の観光客に来ていただくための基盤整備づくりを今後してまいりたいというふうに思っております。そのためには、組織づくりもございますし、施設整備というものもございます。

町といたしましては、公共施設として駅前周辺の施設を整備してまいりたいというふうに思っておりますが、その中で、景観はもちろんですけれども、ヒスイ海岸という名前で打ち出させていただくときに、ヒスイというものをテーマに1つの観光の形というものを形づくらせていただきたいと。そのために、ヒスイの購入ということを検討してまいったわけですが、2回の議員協議会で説明をさせていただきましたとおり、一定の大きさの物につきましては、流通が大きい物とそうでない物がございます。初回5個ということで議員の皆さんにはお話をしておりましたが、1トン、もしくは2トンを超える大きな原石につきましては、いわゆる流通性がまだ低いであろうと。それは、将来的にまだ、時間を置いて待っていても購入は可能と。ただし、ある程度、100キロから200キロレベルの物につきましては、非常に流通性が高く、将来的に手に入れたいというふうに考えたときには、もう既にそういった原石がないということは十分想定されるという思いで、町といたしましては、この3個に絞らせていただきまして、今回、予算上程をさせていただきました。

それらにつきましては、先ほど財務課長よりも説明がありましたように、町の公共施設であります泊駅を初めとしまして、今後整備をしてまいります越中宮崎駅周辺の施設整備の箱物の中にヒスイを展示することで、朝日町がヒスイ海岸を含めたヒスイの歴史というものを前面に打ち出しながら観光施策を進めたいという思いで今回計上させていただいたものであります。

議長（水野仁士君） 大井君、ただいまの答弁でよろしいですか。

大井君。

5番（大井光男君） ありがとうございました。

この件に関しましては、今言われたヒスイの大きさとか個数、私に言わせたら、購入時期、それと設置場所の、大きな観光としての目的は何ぞやということになりますので、今ここで議論するべきでないと思いますので、10日の代表質問並びに総務産業委員会で議論をさせていただければと思いますので、質問を終わります。

議長（水野仁士君） ほかに質疑ありませんか。

道用君。

3番（道用昭雄君） 道用です。

今のヒスイの件に関してですが、確かに突然とヒスイについてどうかという話が出てまいりました。商工観光課長に話をしますと、大分前からその話は出ておるんだと言われるのですけれども、地元の理解もなし。地元の理解はあると言われました。それもないような状態で、私は、どれだけ先ほどから立派な言葉を並べられましても、ヒスイが観光にどうしても必要だという声には聞こえてきませんので、果たして町全体がヒスイを置くということ、例えばその宮崎の駅が、1日の乗降者が50人かそこらしかない、そういうところに置くというような発想もありますし、そういうふうなところで、果たして観光全体が、観光の大筋が成り立っているのかということ非常に疑問に思います。それについて、再度お願いしたいということをお願いしたいということ。

もう1つは、町長が1年間、今まで一生懸命走って回られました。それは敬服いたします。一生懸命やっておられること、町民ともども認めておるわけですが、町長が公約の中にこういう物が欲しいんだということを言われたようですけれども、先ほど大井議員が言われたように、あまりにも話をする時間がなくて……。

絶対だめだと言っておるわけじゃないのです。観光の柱としてするというふうな観光の、要するにお題目といたしますか、朝日町の観光はこういう形でやっていくから、今このヒスイ

が必要なんだというようなことが聞こえてきません。

そういう非常に問題がありますので、できれば町長に、このところの題を省いてもらってこの補正予算を提出していただくことができないでしょうかということを質問いたします。

議長（水野仁士君） 道用君、今のは質問みたいなことで、質疑の話なものですから、あなたの言うておるのは、質疑から外れておりますから、その外してくれとかって、そういう話は……

3番（道用昭雄君） いけないですか。

議長（水野仁士君） だめです。認めません。

3番（道用昭雄君） はい。

議長（水野仁士君） それで、ヒスイの、今言われたその答弁は 笹原町長。

町長（笹原靖直君） ヒスイの購入に関して議員協議会のときにもお話しさせていただきました。これは本当に私が議員時代から、ヒスイ海岸のあり方という中で、具体的な観光客の声の中で、ヒスイ海岸へ行って、「ヒスイの石ちゃ、どういうもんだ」ということなども実際あったわけなのです。そういった中で、過去の、私の議員時代もですが、やめられた先輩議員の中から、ヒスイの石という物を越中宮崎駅周辺等々に掲げて、「あっ、これが必要なんだ」という観光のPRもあるだろうというご提言、あるいは私自身もそういうようなことを発してきた議員時代があるわけでありまして。そういった中で、ぜひそういった物を購入したいということが1点です。

もう1つは、ぜひご理解をいただきたいのは、品物がなかなかないという事実を理解していただきたいというふうに思っているわけでありまして。本来、例えば議員からありましたとおり、何かしっかり持って、見学できるその中にヒスイの石、こういった物がありますよということも決して間違いではありませんが、流通性が非常に高いということと、前も申しましたとおり、今回は本当に元請けの業者と、話がありまして、そういった経緯というものもぜひご理解をいただきたいというふうに思っておるわけなのであります。そういった意味で、大局的な物の捉え方で、いつでもそういった物を得られるのではないという、タイミングというものもご理解をいただきたいというふうに思っております。

議員協議会でありました皆さんのおっしゃる意味も、それは間違いではありませんが、そういった先行取得という意味合いも踏まえ、そして先輩議員が過去に何度も、議事録を見ていただければわかるように、そういうヒスイを取り上げた構想というものもあったという、これはやっぱり歴史であります、認識であります。そういったことの中で小川課長も、今い

きなりというのは、私はそうではないというふうなことで思っておりますし、ただ1つ言えるのは、公約の中でも私はヒスイ海岸にしっかり取り組みますということは、選挙戦を通じて言ったということも、これは事実であります。

もう1点、それと地元の人がというのは、これはあくまで地元の寄附行為はあったのですが、要は朝日町全体の観光としての戦略であるということもご理解を賜っていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

議長（水野仁士君） 道用君、ただいまの答弁でよろしいですか。

道用君。

3番（道用昭雄君） どうも聞いておりますと、石がありて物が進むという感じを強く受けますので、大綱がずっと出てきておるといふなことを町長はおっしゃいますが、第4次の後期計画の中にも出てきませんし、このヒスイ海岸周辺基本構想ということの中にも、ヒスイが必要だということも書いてないわけですので、私たちは非常に懸念するものですから、今の町政の状況、箱物をつくった状態の中でいろいろと町民が心配しておられるものですから、この時期にそういうのがいいのかなと大変心配するもので、町長に再度お尋ねしますが、そういうものを今あわててしなきゃならんのかということ。ないと言われる。ないから買わなきゃならんというのは、観光のそういう方向に果たして適切なのかどうかということをお考えいただけますので、再度お願いいたします。

議長（水野仁士君） ちょっとね、質疑じゃないがですよ、道用君。

質疑というのは、自分の意見とか何とか……。これはどうですかと単独に聞くだけであって、道用議員の話は質疑に入りませんから。だめです。本会議ではありませんけれども、委員会等々で、出席で、総務産業のところでも話を聞いてください。

ほかに質疑ありませんか。

荒尾君。

2番（荒尾勇二君） このヒスイが必要かどうかという議論は、また委員会等でしたいと思います。

1点だけ聞いておきます。

さっき業者のことが出てきましたけど、この業者はもう決まっているのでしょうか。

議長（水野仁士君） 小川商工観光課長。

商工観光課長（小川雅幸君） 一応見積り対象にしている業者さんはおりますが、予算の承認をいただいてから購入ということになりますので、買う業者さんというのはまだ確定

していないということで報告いたします。

〔「ということは、この場ではまだ明らかにはできない……」の声あり〕

議長（水野仁士君） ちょっと、ちょっと。指名してからしゃべってください。

荒尾君。

2番（荒尾勇二君） どうもすみませんでした。

ということで、そうしたら、ここではまだ明らかにはできない。ただ、何軒かあるわけですね。

議長（水野仁士君） 小川商工観光課長。

商工観光課長（小川雅幸君） それにつきましては、議員協議会で事細かにご説明したかと思えますけれども、過去に朝日町が購入して展示しておりますヒスイの購入先と、それがどこから売買されてきた物であったかというお話はさせていただきました。今ほど申しましたように、予算のない先に業者が決まっているということではございません。

議長（水野仁士君） ただいまの答弁でよろしいですか。

2番（荒尾勇二君） はい、よろしいです。

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

議長（水野仁士君） ないようなので、これをもって質疑を終結いたします。

以上をもって、本日の日程は全て終了いたしました。

次会の日程

議長（水野仁士君） 次に、次会の日程を申し上げます。

明日4日は議案調査日とし、5日、6日は休会、7日、8日、9日は議案調査日、10日は本会議を再開し、町政に対する代表・一般質問を行います。

なお、明日4日は、議案調査日ではありますが、午後2時から議会運営委員会を開催いたします。

また、町政に対する代表・一般質問の質問事項の提出締め切りは、あす4日午前10時までとなっておりますので、質問される議員は、所定の用紙に、質問の件名、質問の要旨、要旨の説明を明確に記述の上、定刻までに提出をお願いいたします。

散会の宣告

議長（水野仁士君） 本日は、これをもって散会いたします。

どうもご苦労さまでした。

（午後 0時02分）